

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2017-124723(P2017-124723A)

【公開日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-4717(P2016-4717)

【国際特許分類】

B 6 0 R 25/023 (2013.01)

E 0 5 B 83/00 (2014.01)

【F I】

B 6 0 R 25/023

E 0 5 B 83/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月17日(2018.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

【図 1】電動ステアリングロック装置の斜視図である。

【図 2】電動ステアリングロック装置の分解斜視図である。

【図 3】カバーを省略した状態での図 1 の 3 矢視図である。

【図 4】図 3 の 4 - 4 線断面図である。

【図 5】図 3 の 5 - 5 線断面図である。

【図 6】ロックピンが係合位置にある状態での図 3 の 6 - 6 線断面図である。

【図 7】図 5 の 7 - 7 線断面図である。

【図 8】カバーをボディ側から見た斜視図である。

【図 9】カバーをボディ側から見た正面図である。

【図 10】図 9 の 10 - 10 線断面図である。

【図 11】ロックピンが係合位置にある状態での図 4 の 11 - 11 線断面図である。

【図 12】トリガピンおよびロック保持部材の作動状態を図 11 の 12 - 12 線に沿って示す断面図である。

【図 13】締結部に関してトリガーピン固設部と反対側からの外力がカバーに作用したときの締結部での力の流れを図 9 に対応して (a) で示すとともにカバーの破断状況を図 3 に対応して (b) で示す図である。

【図 14】上方からカバーに外力が作用したときの締結部での力の流れを図 9 に対応して示す図である。

【図 15】締結部に関してトリガーピン固設部側からの外力がカバーに作用したときの締結部での力の流れを図 9 に対応して示す図である。

【図 16】下方からカバーに外力が作用したときの締結部での力の流れを図 9 に対応して (a) で示すとともにカバーの破断状況を図 3 に対応して (b) で示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

この実施の形態では、前記摺動孔 2 6 の上方で該摺動孔 2 6 と平行に延びて前記カバー 2 2 側および前記摺動孔 2 6 側に開放したカバー装着孔 4 6 がボディ 2 1 に形成されており、前記ボディ 2 1 の上面 2 1 c と、前記ロックピン 1 8 との間に介在する平板状の第 1 のプロテクトカバー 4 5 が、前記ロックピン 1 8 をその上方から覆うようにして前記カバー装着孔 4 6 内に挿入される。しかも前記カバー装着孔 4 6 の前記カバー 2 2 とは反対側の一端部は第 1 のプロテクトカバー 4 5 を圧入するように形成されており、前記カバー装着孔 4 6 の前記カバー 2 2 側の端部で前記ボディ 2 1 には、前記カバー装着孔 4 6 の一端部に圧入、保持される第 1 のプロテクトカバー 4 5 の上下方向でのがたつきを抑制するために、前記ロックピン 1 8 とは反対側の一面に当接して第 1 のプロテクトカバー 4 5 の他面をボディ 2 1 側に押しつける一対の突部 4 7 が一体に突設される。すなわち第 1 のプロテクトカバー 4 5 は、カバー装着孔 4 6 に圧入、固定されることになる。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 3 9 】

一方、横断面形状を矩形とした前記トリガーピン 7 8 は、前記ボス 8 0 にねじ部材 8 3 で螺合されるとともに第 1 および第 2 位置決めピン 8 1, 8 2 が挿通されるようにしたベース部 7 8 a を一体に有しており、前記トリガーピン固設部 7 9 に前記ベース部 7 8 a が固定されることで前記トリガーピン 7 8 が前記カバー 2 2 に固設される。すなわちこの実施の形態では、前記カバー 2 2 とは別部材である前記トリガーピン 7 8 が前記カバー 2 2 に固定されるのであるが、前記トリガーピン 7 8 が前記カバー 2 2 と一体に形成されるものであってもよい。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

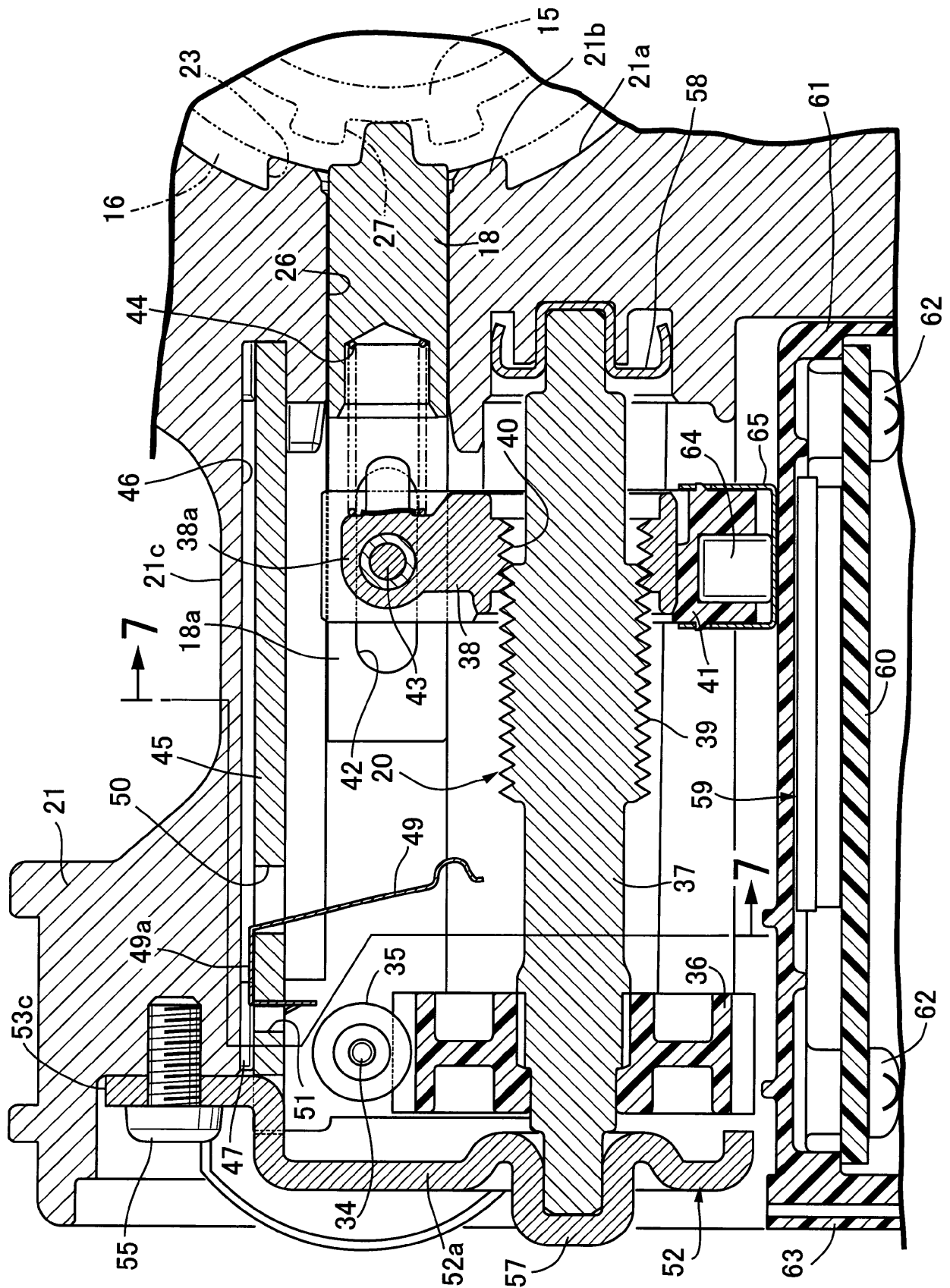
【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 6】

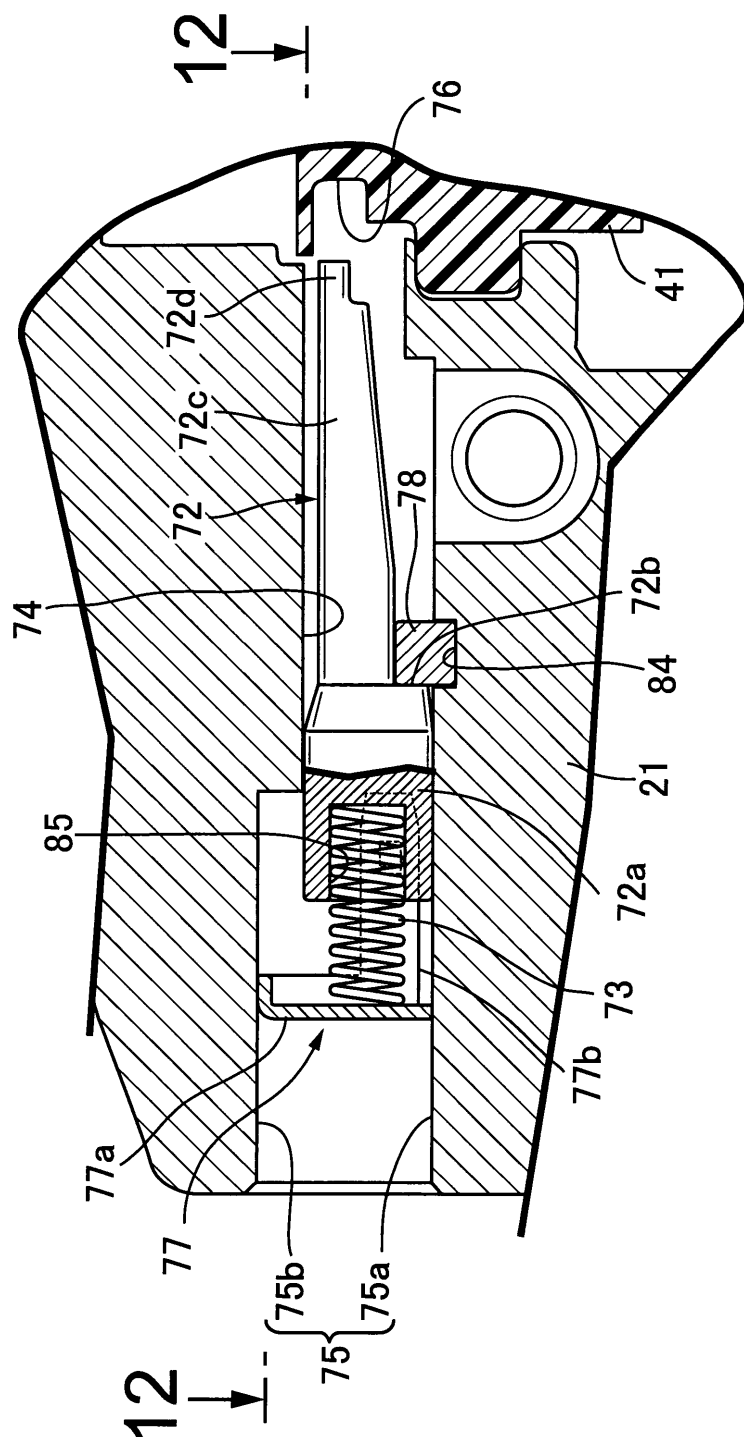
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】



【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 16】

